

特徴：オートソーティング、発酵床等の利用で高品質な豚肉づくり

畜種等	豚
県・市町村名	鹿児島県曽於郡大崎町
取組実施者名	そお元気ファーム株式会社
経営形態	養豚一貫経営
飼養頭羽数	母豚1,200頭
取組開始年	平成19年4月



野方繁殖センター全景



エコーによる妊娠鑑定の風景

経営の概要

そお元気ファーム(株)は、系統養豚生産基盤の強化・再編並びに維持・拡大を進めるとともに、担い手農家の育成を目的に平成18年に設立された。施設は強い農業づくり交付金を利用して、平成18年度に繁殖センターと肥育施設、平成19年度に肥育施設を整備した。

母豚1,200頭から生産される子豚は、21,000頭を自社で肥育し、残り5,500頭を地域の肥育農家へ供給し、地域養豚の発展にも寄与している。

また、地域の未利用資源である焼酎粕をエサに利用したり、地域の耕種農家へ堆肥を供給したりするなど、資源循環型農業にも積極的に取り組んでいる。

生産性向上の取組の概要

- ・ S P F (Specific Pathogen Free, 特定病原体不在) やオールインオールアウトにより、事故率の低減および安心・安全な豚肉生産に努めている。
- ・ 肥育施設は、オートソーティングシステム(自動体重測定選別機)を導入している。給餌スペースと休息スペースを柵で区切り、豚が餌を食べるために移動する際、計量器の上を通過させ体重を自動的に測定し、体重管理している。
- ・ 肥育施設には発酵床を採用し、週管理による大群飼育(1群600頭)が可能となっており、飼養管理作業の軽減に努めている。



オートソーティングシステム



発酵床を利用した大群肥育

取組の実績・効果

【取組実績】

- ・ウインドレス豚舎による温度管理と、適正な飼養管理により疾病が少ないため、離乳時子豚育成率は97%、肥育期間中の事故率も0.9%と高水準である。
- ・オートソーティングシステムにより出荷体重が斉一化されるため、上物率が69.2%と県の平均63.8%と比較して高い。

【取組の効果】

- ・施設からの悪臭がなく、地域住民からの苦情が全くない。
- ・発酵床にありがちな夏場の温度上昇や寄生虫の感染による事故がない。
- ・肥育豚群をオールアウトした後の発酵床は堆肥処理し、地域の耕種農家へ供給している。
- ・清潔で広々とした肥育舎で飼養された豚肉は、しまりがあり臭みやドリップも少なく上物率も高い。また、「薩摩もち豚」として銘柄を確立している。

生産者からのコメント

社員数23名、仕事熱心な社員に恵まれ毎日、懸命に頑張っております。

安全で安心して食べられる豚肉を定時・定量供給できるよう日々、努力して参ります。



従業員のみなさん

事例提供：鹿児島県大隅地域振興局農林水産部曾於支所農林振興課畜産振興係 福留憲浩

お問合せ：鹿児島県大隅地域振興局農林水産部曾於支所農林振興課畜産振興係

TEL 099-482-3566